

◎HEY!鏡

6号機の第1弾が大都技研から、ついに登場します。
旧基準機のATよりも出玉スピードが早く、
5.9号機では非搭載だった天井やモード管理などが復活しています。
番長シリーズのスピノフということで、コンテンツ力も十分。
今後の6号機を占う意味でも、注目の機種といえるでしょう。

AT（純増約5枚/G）機。天井からの「JET BONUS」突入時は、約3分の2で青7ぞろいになるという恩恵も用意されている。



©DAITO GIKEN, INC.

6号機で「カカカカモーン！」

本機は、AT（純増約5枚/G）機で、ベースは50枚あたり約49G、コイン単価は約2.5円。AT初当たり確率は1/330.5～189.7、出玉率は97.9～112%です。

天井は通常時950G消化で、前兆を経由し、擬似ボーナスか、AT「慶志郎チャンス」当選となります。

■通常時

通常時は、筐体左に表示される「HEYカウンター」の数値「HEY」が毎ゲーム1以上加算され、規定数に到達すると番長シリーズおなじみの「特訓」に移行する「HEYシステム」を採用。「HEYカウンター」は「特訓」に移行することで、リセット。レア役などで、大量の「HEY」を獲得することもあります。

「HEYシステム」はモードで管理。通常A、通常B、天国と三つのモードがあり、天国なら、99「HEY」以内に「特訓」に発展。なお、「HEY」の最大は、699となります。

■AT+チャンスゾーン

本機は、20Gの擬似ボーナス「JET BONUS」から、15G、もしくは32Gのチャンスゾーン「ドライブゾーン」を経由し、ベルナビの回数管理型AT「慶志郎チャンス」を目指すというルートがメイン。

「JET BONUS」は赤7ぞろいと青7ぞろいの2種類で、消化中は「ドライブゾーン」のステージ昇格抽選を行っています。これまでのシリーズ機同様、青7ぞろいの方が、昇格抽選が優遇されます。

「ドライブゾーン」は、全役で「慶志郎チャンス」を抽選。AT突入期待度は、4種類あるステージによって異なります（約25・60・70・100%）。

「慶志郎チャンス」突入時のベルナビ回数は、10～100回。レア役で、ベル回数のHOLDや特殊ゾーン「頂対決」などを抽選。消化後に特殊ゾーンに移行しなければ、32Gの「ドライブゾーン」（ステージはAT突入期待度60・70・100%のいずれか）に突入し、引き戻しを目指します。平均引き戻し期待度は、約70%となります。

■特殊ゾーン

本機は、ベルナビ回数の上乗せ特化ゾーンなどはありませんが、「慶志郎チャンス」中のレア役などで、「頂対決」と「絶頂対決」という特殊ゾーンを抽選しています。

特殊ゾーンは、「慶志郎チャンス」消化後に突入し、「対決」に勝てば、チャンスゾーンを経由せず、次セットがスタートするので、出玉スピードが加速します。

「頂対決」は、初回は勝利が確定し、2回目以降は50%ループ。上位の「絶頂対決」は3回の勝利保証+80%ループで、ベルナビ20回以上の「慶志郎チャンス」が確定となります。

ついに、6号機が登場。純増約5枚/GのAT機ということに加え、5.9号機では難しかったモード管理や天井機能を搭載することで、ゾーン狙いや天井を追いかける楽しさを与えてくれる機種といえます。

純増が高い分、初当たりが重く、ATが継続しづらい部分は、出玉の制限があるので仕方ないところですが、空き時間でのプレーや夜のサラリーマン層など、短時間勝負には向いています。5.9号機だけでなく、旧基準機との使い分けにも期待できるでしょう。

PROFILE

糸柳達成（いとやなぎ たつなり）
株式会社アテイン 代表取締役
関東老舗ホールで店長として新規・リニューアル含めて6店舗を経験。その後経営コンサルタントとして独立して12年。業界歴は28年以上。現在は、経営コンサルタントのほかにも、TV出演、コラム執筆、セミナー、集客企画などマルチな活動を行う。TwitterなどのSNSやニコ生などのウェブを使った動画配信による情報発信も（詳しくはitoyanagi.net参照）。